

○西郷小学校ESDカレンダー 評価規準表（2021年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年 探究課題	◆オリエンテーション(3) ・1年間のめあてや見通しをもつ	◆西郷のまちについて考えよう(30) ・SDGsについて知ろう ・学校や地域の「SDGs」を見つかけよう ・西郷地区の「今」をくわしく知ろう ・持続可能な西郷のまちを実現するために、自分ができることを考え、実行しよう				◆活動をふりかえり、学校ホームページで発信しよう						◆1年間のまとめ(2)	
						◆平和について考えよう(20) ・戦争や原子爆弾について調べよう ・長崎でのフィールドワークの計画を立てよう ・長崎で学んだことをまとめ、きてみんしゃい祭りで全校や地域に発信しよう				◆卒業プロジェクトを成功させよう(15) ・西郷小で学んだことへの感謝の気持ちを伝えよう ・小学校での思い出づくりをしよう			
評価の観点とその趣旨(評価規準)													
知識・技能 (6つの構成概念を記入)		<多様性><相互性><連携性> ・自分たちが生活している中には、地域の課題解決や地域活性化に向けた取り組みがあり、様々な人々が思いや願いをもって生活していることを理解している。 ・情報の比較・分類・関連付けを、探究の過程に応じた思考ツールを用いて実施している。 ・持続可能な西郷のまちを実現したいという自らの意識の高まりは、その気持ちを持ち続け探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。				<公平性><連携性><多様性> ・長崎の歴史を知ること、戦争に大きく影響された事実を知りその悲惨さを理解している。 ・一つの見方ではなく、多様な見方で物事をとらえるためには、過去に学ぶことが大切であることや歴史を学ぶ価値に気付きそれを実施している。 ・自分にもできないことがないかを考えているのは、今なお世界には紛争が絶えない一方、多様な平和への努力があることを知り、探求的な学習を行ってきた成果であると気付いている。				<相互性><連携性> ・多くの方々の支えのお陰で小学校生活を送ることができたことを理解している。 ・学校のためにできることを自分たちで考え、計画・実施している。 ・得られた達成感、協力して役割を分担し、最後まで決めたことをやり通したことに気付いている。			
思考・判断・表現		・西郷地区がこうなってほしいという自分の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って課題解決のための計画を立てている。 ・課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、どれが必要か自分で決めている。 ・課題解決に向けて「実現可能か」「意味があるか」等の視点で自らの取り組みの確かな理由を見いだしている。 ・活動の過程や結果、成果などをふさわしい方法を選びながら、分かりやすく整理して表現している。				・長崎が受けた被害を知り、そこから学んだことをまとめ発信するための計画を立てている。 ・第二次世界大戦についての資料を集める手段として文献やインターネット等適した方法を決めている。 ・戦争の経緯を学習することにより、どうすればよかったのかを自分なりに考え、平和の大切さを学習することの根拠を見いだしている。 ・学んだことを全校や地域に伝えるという相手意識をもって分かりやすく表現している。				・学校のためにできることを、決められた時間内に効率よくできるように計画を立てている。 ・各プロジェクトの実行委員として準備していく中で、必要とする情報に応じてアンケートのとり方等の方法を自分たちで決めている。 ・感謝の気持ちを表すにはどうすればよいかということを念頭に置き、各イベントを開催したり、記念品を作ったりする根拠を見いだしている。 ・伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。			
主体的に学習に取り組む態度		・積極的に地域に関わることで関心を深め、地域とのつながりを見いだそうとしている。 ・学校や地域をSDGsの17の視点で見つめ直し、自らの課題を明確にして地域と関わろうとしている。 ・自分の学びを振り返り、評価・改善しながら課題解決に取り組もうとしている。				・調べ学習や長崎への修学旅行、それらをまとめることを通して平和について学ぶ意味を見いだそうとしている。 ・平和について具体的にどうすればよいかを行動レベルに落として考え、友達と協力して課題に関わろうとしている。 ・様々な平和へのアプローチを知り、自分の周りから変えていくためにはどうすればよいか、目的を明確にして取り組もうとしている。				・卒業プロジェクトにおいて、実行委員のメンバーと考えを交流してより良い感謝の伝え方を見いだそうとしている。 ・感謝の気持ちをもって、卒業までの日々を過ごし、級友や下級生、先生方と関わろうとしている。 ・これからも他者のために自分ができることを考え、実行しようという気持ちをもって取り組もうとしている。			

○持続可能な社会づくりの構成概念（国立教育政策研究所）

- ①多様性：いろいろある ②相互性：関わり合っている ③有限性：限りがある
④公平性：一人一人大切に ⑤連携性：力を合わせて ⑥責任性：責任をもって